

ミニ野菜調査の紹介

札幌市農業支援センターでは、平成22年度よりミニ野菜の栽培調査を行っており、有望品種等に関する調査結果をご紹介します。

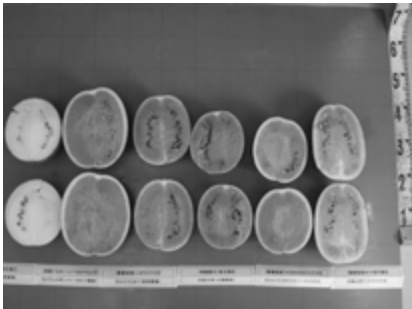
今年度は、小玉スイカ・ミニキュウリ・ミニハクサイ・ミニレタス・ミニダイコン・ミニキャベツ・ミニカボチャの以上7品目の調査を行っています。

ミニ野菜は、皮をむいたり、切る必要がない野菜が多く、調理時間も短縮でき、新鮮なうちに食べきれるサイズであることが非常に魅力となっています。

今年度実施した作物について、食味調査等の結果から、有望と思われる品種は以下のとおりです。

- ①小玉スイカ：「黄太郎」（萩原農場）、「ひとりじめBONBON」（萩原農場）「糖度が高く、シャリ感もあり、食味もよい」
- ②ミニキュウリ：形の揃いが良い品種はあったが、食味に関しては、従来品種には及ばなかった。
- ③ミニハクサイ：「^{わわ}々菜」（トキタ種苗）「締まりもよく揃いもよい」
- ④ミニレタス：「美味タス」（トキタ種苗）「食感やみずみずしさに優れ、食味よし」
- ⑤ミニダイコン：「ころ愛」（サカタのタネ）「肉質は緻密で食味もよい」
- ⑥ミニキャベツ：「みさき」（サカタのタネ）「食味もよく、タケノコ状の形状から、差別化が図れる」
- ⑦ミニカボチャ：「坊ちゃん」（みかど協和）「糖度が高く、食味もよい」

（参考写真）



小玉スイカ半割一覧（左端が黄太郎）
（ひとりじめBONBONは右から2つ目）



ミニハクサイ（娃娃菜）



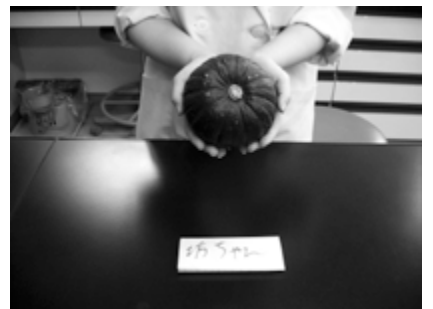
ミニレタス（美味タス）半割写真



ミニダイコン（ころ愛）



ミニキャベツ（みさき）



ミニカボチャ（坊ちゃん）

これまでも、各種苗会社よりミニ野菜について様々な品種が出ておりましたが、食味の劣るものが多かったようです。

近頃のミニ野菜の中には、食味の優れたもの（小玉スイカ「ひとりじめBONBON」やミニカボチャ「坊ちゃん」等）があり、こだわりのある八百屋や直売所等では、ミニハクサイの「娃娃菜」が人気を博し、ミニカボチャの「坊ちゃん」も、依然として高い人気を得ています。

ミニ野菜は、手ごろな大きさで、食べきりサイズというのが大きな魅力となっています。今後、核家族や一人暮らし等の方々のためにも、量販店等に多くのミニ野菜が出回ればと考えております。

今後も、当センターでは継続してミニ野菜の調査を行っていく予定です。

詳細については、札幌市農業支援センター 地産地消推進係まで。 電話011-787-2220